

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		療育ケアMARINE RAINBOW 本山				
		公表日 令和7年3月7日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2人	2人	・範囲内でできる活動を実施している。	・活動スペースと学習スペースが隣接しているので、環境調整が必要。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4人	0人	・全体を見渡してすぐに対応できる位置を事前に決めてから支援に取り組んでいる。	・適切な配置ではあるが、より手厚い支援を行なうには数名の人員は必要。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2人	2人	・視覚優位の児童様に対して、活動の理解を示すためのルールブックの作成をしている。 ・集中できる環境の提供。	・視覚的な部分への配慮しか出来ていないので、それ以外の部分への配慮も適宜行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4人	0人	・常日頃、清掃を実施している。 ・児童様が使用する玩具も直す場所を決めてわかりやすい配置にしている。	・今以上に分かりやすい配置や区画を決めていく必要がある。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4人	0人	・痴癡や他児童様への他害の恐れのある場合には別室にて対応が出来ている。	
業務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4人	0人	・常に業務中に無駄がないかを各職員に確認してもらい、適宜修正を図り、効率化を目指している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3人	1人		・今後実施予定。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4人	0人	・職員の意見を吸い上げる機会を設けている。 ・職員が話しやすい、風通しの良い運営を心がけている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2人	2人		・今後実施予定。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2人	2人	・ケースミーティングや各職員による勉強会、外部の勉強会を企画して参加してもらっている。	
適 切 な 支 援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4人	0人	・作業療法士（OT）監修の下、作成している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4人	0人		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4人	0人	・会議の時間を設けて実施している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4人	0人	・会議の時間を設けて実施している。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4人	0人	・インフォーマルな評価は日々振り返りの中で意見を出し合い、各児童様に応じて対応を考えている。	・標準化された評価等に関しては順次実施していく予定である。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4人	0人	・全職員で話し合い、必要項目の適切な支援の設定が出来ている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4人	0人	OT監修の下、活動の狙い、目的を明確にし各職員に伝達し視点の共有をしている。	

援 の 提 供	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4人	0人	・各職員に意見を出してもらしながらプログラムの作成に当たり、固定化しない工夫を行っている。	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4人	0人	・その日の児童様の様子に応じて小集団を細分化したり、個別対応をするなどの支援を実施している。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4人	0人	・朝礼で打ち合わせを行い、活動の目的、狙いを伝えている。必要に応じて職員の配置場所も決めている。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4人	0人	・朝礼で振り返りを行い、職員で共有している。居ない職員に情報が行き渡るようにノートを作成し、共有体制を整えている。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4人	0人	・日々の連絡帳とは別に職員共有の記録を作成し、児童様の様子を確認している。	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4人	0人	・個別支援計画書更新のタイミングで実施している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	4人	0人		
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4人	0人	・おやつは選択制にしており、決められた金額の中で好きなものを選べるようにしている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4人	0人	・基本的には管理者が参加し、各職員に伝達している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2人	2人		・今後、連携していくに当たって、会社全体でどのようにしていくかを検討していく。
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4人	0人	・当事業所の利用中に児童様が学校の内容のことを話した際は必要に応じて学校にも共有している。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2人	2人		・今後は新一年生になるタイミングの児童様が利用する場合には積極的に実施していく。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2人	2人		・現状、そのような児童様がいないので必要に応じて提供できる体制を整えていく。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2人	2人		
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2人	2人		・今後必要に応じて地域の児童様との関わりを持てるような活動を実施していきたい。
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1人	3人		・分からぬ部分が多いので、職員間で情報を集めていく必要がある。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4人	0人	・送迎時や電話の際に事業所での様子をお伝えしたり、ご自宅での様子を伺って共有している。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2人	2人	・保護者会開催時に不定期ではあるが、外部講師を招いて研修会の機会を設けている。	
	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3人	1人	・連絡帳でも活動等の説明を行っている。 ・支援プログラムに関しては作成したものを保護者会で説明をしている。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4人	0人		
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4人	0人		・今後実施していく予定。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3人	1人	・送迎時や電話の際に伺って必要に応じて助言等を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4人	0人	・保護者会を実施しており、そこで保護者様の間で交流等を図って頂いている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3人	1人		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4人	0人	・ブログを行っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3人	1人		・事業所用携帯の取り扱いに注意が必要である。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4人	0人	・聴覚指示や集団指示が入りづらい児童様に対し、ルールブックを作成し視覚からの指示や情報が入りやすい様に配慮をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2人	2人		・行事に関しては利用児童様のみなので、今後の状況に応じて規模を拡大し、地域とのつながりを図っていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3人	1人	・地震や火災を想定した訓練を実施している。 ・マニュアルの読み込みも実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3人	1人	・BCPを作成し、それに則って訓練等も実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4人	0人	・ファイルを作成し、各職員が確認できる環境を整えている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4人	0人	・別紙でファイルを作成し、すぐに確認できるようにしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3人	1人	・保護者様にご説明したうえ、運営中は玄関、勝手口、窓等の施錠を徹底し、事業所外への飛び出しを防止できるようにしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	0人	4人		・分からぬ部分が多く、しっかり周知できているかも分からない。 ・職員の理解はあるが、保護者様まで周知できているか分からない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4人	0人	・利用中の危険個所や注意すべきことを事前に確認しているのでヒヤリハット件数は少ないが、発生時には速やかに職員間で共有できる方法を定めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4人	0人	・研修を実施し、職員同士の意見を出してもらっている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4人	0人	・必要に応じて説明している。	